



ATOK12 for Windows

ATOK12W.INI ファイル仕様書

- * 「ATOK12」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、
「ATOK12」にかかる著作権その他の権利はすべて
株式会社ジャストシステムに帰属します。
- * 「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- * その他、記載された製品名は各社の商標または登録商標です。

(C) 1998 株式会社ジャストシステム

ご使用条件

株式会社ジャストシステム（以下「弊社」）は、以下に定めるドキュメント、サンプルプログラム〔ソース/実行形〕、開発用ファイル（以下総称して「本技術情報」）を受領するお客様（以下「受領者」）が下記の条件にご同意されることを条件として、本技術情報の使用を許諾いたします。受領者が本技術情報のご使用を開始された場合は、下記条件に同意いただいているものとみなします。（本使用条件は、ドキュメントの本文、および開発用ファイル、サンプルプログラムの「License.txt」にも記載されています。）

ドキュメント : ATOK12W.INI ファイル仕様書
サンプルプログラム : (該当するものではありません)
開発用ファイル : (該当するものではありません)

記

1 定義

「アプリケーション」とは、本使用条件に従い本技術情報を使用して受領者が開発するプログラムまたはソフトウェア製品などをいいます。

2 受領者は、受領者個人または受領者の属する法人などの内部的な範囲において、個人的または商業的とを問わず、アプリケーション開発を目的とする場合に限り、以下に定める範囲で本技術情報を使用することができます。

- (1) 本技術情報を、閲覧、ダウンロード、複製して使用すること。
- (2) サンプルプログラムのソースコードについては、改変し、アプリケーションに組み込むこと。
- (3) アプリケーションを第三者に頒布すること。

3 受領者は以下の行為を行わないものとします。

- (1) 本使用条件に定める以外の目的での本技術情報の使用。
- (2) 本技術情報の一部または全部の、第三者への頒布、販売、再使用許諾、送信、Web サイトなどネットワークサーバへの掲示。
- (3) ドキュメント、開発用ファイルの一部または全部の、改変、リバースエンジニアリング。
- (4) 本技術情報を利用することによる、弊社 ATOK シリーズ競合製品の開発。
- (5) アプリケーションの開発、評価および使用の際に、真正品以外の ATOK または弊社製品を使用すること。

4 受領者はアプリケーションを頒布する際、有償であるか否かを問わず、以下を遵守するものとします。

- (1) 弊社の書面による許諾なく、弊社の社名や製品名等のロゴを使用しないこと。
- (2) アプリケーションが弊社製品に対応する旨を表示したり、マニュアル等で商品内容や操作を説明したりする場合を除き、弊社の社名および商品名を表示しないこと。
- (3) 前項に従って、製品名を記載する場合は、「ATOK」が弊社の登録商標である旨をあわせて表示すること。
- (4) アプリケーションについて弊社による推奨、監修、品質保証等がある、もしくは、アプリケーションが弊社から販売されているかの誤認を与えるような表示を行わないこと。
- (5) アプリケーションの頒布により生じた第三者との紛争に関しては、受領者の責任と負担により解決するものとし、弊社に損害を与えないこと。

5 本技術情報にかかる著作権その他の権利は、弊社に帰属するものであり、受領者は、本技術情報に付されている著作権、商標権その他の知的財産権の表示を削除、変更することはできません。

6 弊社は、

- (1) 本技術情報は現状有姿で提供され、その品質および機能が完全であることおよび受領者の使用目的に適合することを保証するものではなく、本技術情報についての瑕疵担保責任および保証責任を一切負いません。本技術情報の選択導入は受領者の責任で行っていただき、本技術情報の使用およびその結果についても同様とします。
- (2) 本技術情報およびアプリケーションの使用または使用不能から生ずる直接的または間接的損害については一切責任を負いません。

7 弊社は受領者に対し、本技術情報に関するサポートは一切行いません。

8 弊社は、受領者が本使用条件のいずれかの条項に違反した場合または弊社の著作権を侵害した場合には、本技術情報の受領者による使用を終了させることができます。その場合、受領者は、受領者が有する本技術情報及びその複製物を必ず破棄して下さい。

9 本技術情報は随時変更されることがあります。

以 上

目次

1 . 概 要	1
1 - 1 . 本書の内容	1
1 - 2 . 対象バージョン	1
1 - 3 . INI ファイルの場所	1
1 - 4 . INI ファイルの変更方法・設定を有効にする方法	1
1 - 5 . INI ファイルを編集するときの注意事項	1
2 . INI ファイルの構造	2
2 - 1 . コメント行	2
2 - 2 . セクション	2
2 - 3 . エントリ	2
2 - 4 . 設定	2
3 . セクション、エントリの仕様	3
3 - 1 . [入力・変換]セクション	3
3 - 2 . [辞書・学習]セクション	6
3 - 3 . [辞書セット1]～[辞書セット9],[辞書セット0]セクション	6
3 - 4 . [ATOKパレット]セクション	7
3 - 5 . [ファンクションキーガイド]セクション	7
3 - 6 . [パレット共通]セクション	7
3 - 7 . [AMET1]～[AMET9],[AMET0]セクション	7
3 - 8 . [スタイル]セクション	8

1 . 概 要

1 - 1 . 本書の内容

ATOK12W.INI(*1)ファイル(以降「INI ファイル」と呼ぶ)とは、ATOK12 プロパティで設定した内容を保存するファイルのこと。ファイルの内容を変更することで、ATOK12 プロパティを操作したときと同様に ATOK12 の各種設定を変更することができる。また、ATOK12 プロパティからは変更できない設定項目も、INI ファイルで設定することができるものもある。

本書では INI ファイルの設定項目について解説する。

(*1)ログインユーザーごとに設定している場合はファイル名が異なる。
ATOK12OV.INI ファイルが同じ機能をもつファイルとなる。

1 - 2 . 対象バージョン

本書の解説は、ATOK12 for Windows でのみ有効である。

1 - 3 . INI ファイルの場所

初期設定では、Windows95/98 の場合は¥windows フォルダ、WindowsNT の場合は¥winnt フォルダにある。

1 - 4 . INI ファイルの変更方法・設定を有効にする方法

テキストエディタ等で直接編集する。

編集後の設定を有効にするには、Windows を再起動する必要がある。

1 - 5 . INI ファイルを編集するときの注意事項

実際の INI ファイルには本書で解説している以外の項目が記述されている部分がある。この部分をむやみに変更すると ATOK や Windows が正しく動作しなくなる可能性がある。INI ファイルを編集する際は十分に注意してほしい。編集を開始する前に INI ファイルをコピーするなどして、編集前の状態に戻せるようにしておくことをお奨めする。

エントリ	設定	初期設定	設定の意味 / 設定できる範囲	設定の説明 / 備考 印 ...ATOK11 の仕様を変更 印...ATOK12 でエントリ追加
半角全角変換	=しない =する			
半角全角カタカナ指定	=しない =半角 =全角			
半角全角英字指定	=しない =半角 =全角			
半角全角数字指定	=しない =半角 =全角			
半角記号指定文字	" (記号) "	"! "#\$% &'()*+ -./:;?@ [¥]^_` { }~"		
全角記号指定文字	" (記号) "	" "		
入力中文字への半角全角変換適応	=しない =する			
ユーザー単語への半角全角変換適応	=しない =する			
後変換操作への半角全角変換適応	=しない =する			
句読点変換	=しない =する			句読点を入力した時点で自動的に変換 (「連文節変換」でも「句読点変換」が可能になる)
句読点変換文字種	=1011 上 下 位 位	=1011	各桁の値が 1 か 0 かで設定を切り替える 上位 句点(。.) 0:しない 1:する 読点(、) 0:しない 1:する ? 0:しない 1:する 下位 ! 0:しない 1:する	自動的に変換するきっかけとなる となる句読点文字の設定 「句読点変換=する」のとき有効
単語コメント	=しない =する			
テンキー半角入力	=しない =する			
ローマ字立ち直り	=しない =する =自動			
スペースキー全角入力	=11010 上 下 位 位	=11010	各桁の値が 1 か 0 かで設定を切り替える 上位 あ 0:全角 1:半角 ア 0:全角 1:半角 ア(半角) 0:全角 1:半角 A 0:全角 1:半角 下位 A(半角) 0:全角 1:半角	
固定入力確定優先	=00000 上 下 位 位	=00000	各桁の値が 1 か 0 かで設定を切り替える 上位 あ 0:しない 1:する ア 0:しない 1:する ア(半角) 0:しない 1:する A 0:しない 1:する 下位 A(半角) 0:しない 1:する	
自動カナロック	=しない =する			
助詞立ち直り優先	=しない =する			
カーソル位置の前後を参照して変換	=しない =する			
カーソル位置モード表示	=しない =する			
コード体系	=JIS =シフトJIS =区点			
独語・仏語キーボード	=ATOK9 互換 =Windows互換			
ATOKを標準で使用 する確認	=しない =する		標準IME誘導ガイド使用有無の設定	
次候補表示までの 変換回数	=(数値)	=2	0 および 2 ~ 99 を指定可能	何回目の変換キーで次候補表示を行うかの回数 0 の場合は次候補表示を行わない カナ入力時のカナキー「ぬ」～ 「わ」の設定 入力: そのままカナ文字として 入力 選択: 次候補選択の番号「1」～ 「0」として使用
カナ入力時次候補 選択	=入力 =選択			

エントリ	設定	初期設定	設定の意味 / 設定できる範囲	設定の説明 / 備考 印 ...ATOK11 の仕様を変更 印...ATOK12 でエントリ追加
候補表示サイズ	=標準 =拡大			
省入力候補の追加	=しない =する			
半角全角カタカナ候補の追加	=00 上 下 位 位	=00	各桁の値が 1 か 0 かで設定を切り替える 上位 カタカナ全角 0:しない 1:する 下位 カタカナ半角 0:しない 1:する	候補一覧表示の際に、半角全角カタカナ派生表記を追加するかどうか
半角全角英字候補の追加	=00 上 下 位 位	=00	各桁の値が 1 か 0 かで設定を切り替える 上位 英字全角 0:しない 1:する 下位 英字半角 0:しない 1:する	候補一覧表示の際に、半角全角英字派生表記を追加するかどうか
半角全角数字候補の追加	=00 上 下 位 位	=00	各桁の値が 1 か 0 かで設定を切り替える 上位 数字全角 0:しない 1:する 下位 数字半角 0:しない 1:する	候補一覧表示の際に、半角全角数字派生表記を追加するかどうか
半角全角記号候補の追加	=00 上 下 位 位	=00	各桁の値が 1 か 0 かで設定を切り替える 上位 記号全角 0:しない 1:する 下位 記号半角 0:しない 1:する	候補一覧表示の際に、半角全角記号派生表記を追加するかどうか
後変換候補の追加	=00000 上 下 位 位	=00000	各桁の値が 1 か 0 かで設定を切り替える 上位 あ 0:しない 1:する ア 0:しない 1:する ア(半角) 0:しない 1:する A 0:しない 1:する 下位 A(半角) 0:しない 1:する	
かな英字置換候補の追加	=00 上 下 位 位	=00	各桁の値が 1 か 0 かで設定を切り替える 上位 全角 0:しない 1:する 下位 半角 0:しない 1:する	カナ-半角英字置換 カナ-全角英字置換
コメント位置	=指摘箇所 =専用ウィンドウ			校正支援 / 単語コメント結果の表示方法
コメント境界マーク	= () = [] = { } = 《 》 = 【 】			校正支援 / 単語コメントの結果をユーザに提示するコメント文字列の境界を指定
コメントマーク	=(コメントマーク文字)	=	コメントマークとして表示する文字列を記述する	校正支援 / 単語コメントの注釈マーク
エラーメッセージ	=非表示 =表示			
エラー音	=鳴らさない =鳴らす			
スペースキー	=11100 上 下 位 位	=11100	各桁の値が 1 か 0 かで設定を切り替える 上位 あ 0:空白入力 1:機能 ア 0:空白入力 1:機能 ア(半角) 0:空白入力 1:機能 A 0:空白入力 1:機能 下位 A(半角) 0:空白入力 1:機能	
先読み変換	=しない =する			入力中の辞書アクセス設定(先読みする/しない)
解析スレッド使用	=しない =する			
確定語保存	=しない =メモリ =する(学習のみ) =する(全て)			設定内容変更 確定後の保存
自動カナロック時のカナキーとの連動	=しない =する			初期設定変更
半角入力モードでの自動カナロック	=しない =する			
半角全角対応(-:~)	=しない =する			入力変換時の対応文字の変更 ATOK11 Ver.1.1 /R.2 以降で有効
半角全角対応(`:´)	=しない =する			入力変換時の対応文字の変更 ATOK11 Ver.1.1 /R.2 以降で有効
半角全角対応(*:)	=しない =する			入力変換時の対応文字の変更 ATOK11 Ver.1.1 /R.2 以降で有効
縦書きキー操作補正	=しない =する			縦書き時に矢印キー 90 度回転操作補正を行うか (例: キーの機能が キーへ)

3 - 2 . [辞書・学習]セクション

エントリ	設定	初期設定	設定の意味 / 設定できる範囲	設定の説明 / 備考 印 ...ATOK11 の仕様を変更 印...ATOK12 でエントリ追加
基本辞書セットNo	= (数値)	=1	0 および 1 ~ 9 を指定可能	
辞書共有	=しない =する			

3 - 3 . [辞書セット1] ~ [辞書セット9] , [辞書セット0] セクション

エントリ	設定	初期設定	設定の意味 / 設定できる範囲	設定の説明 / 備考 印 ...ATOK11 の仕様を変更 印...ATOK12 でエントリ追加
辞書セット名称	" (辞書セット名称)		" " 内に辞書セット名称の文字列を記述	文字列の長さは半角 80 文字 (全角 40 文字) 以内
ユーザー辞書	= (辞書ファイル名)		ユーザー辞書ファイル名をドライブ名・フォルダ名を含めて文字列で記述	文字列の長さは半角 260 文字 (全角 130 文字) 以内
システム辞書	= (辞書ファイル名)		システム辞書ファイル名をドライブ名・フォルダ名を含めて文字列で記述	文字列の長さは半角 260 文字 (全角 130 文字) 以内
補助辞書 1	= (辞書ファイル名)		補助辞書 1 ファイル名をドライブ名・フォルダ名を含めて文字列で記述	文字列の長さは半角 260 文字 (全角 130 文字) 以内
補助辞書 2	= (辞書ファイル名)		補助辞書 2 ファイル名をドライブ名・フォルダ名を含めて文字列で記述	文字列の長さは半角 260 文字 (全角 130 文字) 以内
補助辞書 3	= (辞書ファイル名)		補助辞書 3 ファイル名をドライブ名・フォルダ名を含めて文字列で記述	文字列の長さは半角 260 文字 (全角 130 文字) 以内
補助辞書 4	= (辞書ファイル名)		補助辞書 4 ファイル名をドライブ名・フォルダ名を含めて文字列で記述	文字列の長さは半角 260 文字 (全角 130 文字) 以内
学習	=ON =OFF			
自動登録英字複合語	=しない =一時 =する (弱) =する (強)			
自動登録ひらがな後変換	=しない =一時 =する (弱) =する (強)			
自動登録カタカナ後変換	=しない =一時 =する (弱) =する (強)			
自動登録英字後変換	=しない =一時 =する (弱) =する (強)			
自動登録未登録語	=しない =一時 =する (弱) =する (強)			
自動登録複合語	=しない =一時 =する (弱) =する (強)			
自動登録文節区切り	=しない =一時 =する (弱) =する (強)			
英字大小文字区別	=しない =する			
A I 学習	=しない =する (簡易) =する (詳細)			簡易 : 「複合名詞」のみ 詳細 : すべて

3 - 4 .[A T O Kパレット]セクション

エントリ	設定	初期設定	設定の意味 / 設定できる範囲	設定の説明 / 備考 印 ...ATOK11 の仕様を変更 印...ATOK12 でエントリ追加
ボタンサイズ	=標準 =精細			標準は 16 ドット、精細は 24 ドットのボタン
ツールヒント表示	=しない =する			エントリ名・設定表記変更 機能ボタンのツールヒント表示
日本語入力オフで表示モード	=しない =する =縦型 =横型			
タスクバー化	=しない =する			ATOKパレット・タスクバーと結合する / しないの設定
タスクバー化位置	=上 =下 =左 =右			タスクバー化したときの位置

3 - 5 .[ファンクションキーガイド]セクション

エントリ	設定	初期設定	設定の意味 / 設定できる範囲	設定の説明 / 備考 印 ...ATOK11 の仕様を変更 印...ATOK12 でエントリ追加
キーガイド表示	=しない =する			ファンクションキーガイドの表示状態
初期表示状態	=非表示 =表示			"表示"のとき、初回ATOK起動時に"キーガイド表示"エントリの値に関わらず、ファンクションキーガイドを表示する。非表示の時は、"キーガイドエントリ"の値に依存する。
表示モード	=縦型 =横型			
タスクバー化	=しない =する			ファンクションキーガイド・タスクバーと結合する / しないの設定
タスクバー化位置	=上 =下 =左 =右			タスクバー化したときの位置
1行表示	=しない =する			ATOKパレット・ファンクションキーガイドともにタスクバー化のとき、同じ位置であれば一行で表示する。

3 - 6 .[パレット共通]セクション

エントリ	設定	初期設定	設定の意味 / 設定できる範囲	設定の説明 / 備考 印 ...ATOK11 の仕様を変更 印...ATOK12 でエントリ追加
オープンモード	=共通 =固有			漢字ON時に前のオープン状態を引き継ぐかどうか ATOK11 Ver.1.1 /R.2 以降で有効

3 - 7 .[A M E T 1] ~ [A M E T 9], [A M E T 0] セクション

エントリ	設定	初期設定	設定の意味 / 設定できる範囲	設定の説明 / 備考 印 ...ATOK11 の仕様を変更 印...ATOK12 でエントリ追加
名称	=(名称)		AMET切り替え時にメニューに表示される文字列を記述	AMETの名称
I D	=(ProgID)		AMETアプリケーションのProgIDを文字列で記述	
未起動入力	=しない =する			AMETアプリケーションが未確定文字列が無くても起動可能かどうか

3 - 8 .[スタイル]セクション

エントリ	設定	初期 設定	設定の意味 / 設定できる範囲	設定の説明 / 備考 印 ...ATOK11 の仕様を変更 印...ATOK12 でエントリ追加
現在のスタイル	=(スタイル名)		スタイル名を文字列で記述	選択しているスタイル名
スタイル 1 、 スタイル 3 0	=(スタイル名),(ス タイルファイル名)		スタイル名を文字列で記述 スタイルファイル名を、ドライブ名・フ ォルダ名を含めて文字列で記述	

以 上